平成 26 年度　第 1 回 金沢市介護保険運営協議会	資料２
平成 26 年 8 月 6 日	

平成 26 年度第１回介護保険「市民フォーラム」開催結果

１　タイトル　介護保険「市民フォーラム」
～地域力で高齢者の暮らしを支え合うまち金沢を目指して～

２　開催日時　平成26年７月６日（日）　午後２時から午後４時30分まで

３　開催場所　金沢市消防局２階　防災センター

４　主　　催　金沢市介護保険運営協議会、金沢市介護サービス事業者連絡会

５　開催目的　「長寿安心プラン２０１２」の見直しに当たり、本市における介護保険制度の現状と基本構想を踏まえた事業計画の見直しに係る方向性を説明するとともに、終末期医療の実例についての講演を行うことで、広く市民からの意見を伺い、次期事業計画の策定に活かすため、市民フォーラムを行う。

６　参加者数　85名

７　説 明 者

＜運営協議会委員＞
石 田 道 彦 副会長、入 川 尚 子 委員、片 田 圭 一 委員

＜講演講師＞
医師　熊 走 一 郎 氏（わかくさホームケアクリニック）
患者家族　源　恭 子 氏

８　内　　容

(1) 開会、趣旨説明（石田委員　５分）
(2) 介護保険制度と地域包括ケアシステムの構築について（入川委員　15分）
(3) 金沢市地域包括ケアシステム推進基本構想の概要について（片田委員　15分）
(4) フォーラム参加者との意見交換（司会石田委員　30分）
【休憩 10分】
(5) 講演　「在宅医療でできること」（熊走氏、源氏　60分）
(6) 閉会

９　参加者からの主な意見・要望

・ヘルパーに代わる互助として具体的にどのような方が期待されているのか。
介護予防が市の事業になることは、ヘルパーとしては非常に不安である。
・説明を聞いて、これからは地域に根ざした主体的な活動を促すために、地域包括 19 箇所ごとに拠点を作り、モデル的にやるなど、リーダーが生まれてくるような取組を行っていく必要があるのではないか。
・地域サロンで集いを開いていかないといけないというのは大いに結構であるが、基本的な介護については公的サービスの充実が必要である。秋までに制度改正の内容について、市民の意見を取り入れるような取組をしてほしい。
・行政が施策を作るという行政主導の流れが強いので、地域の力をもっと借りなければ、絵に描いた餅になる。みんなが対等な立場で検討ができる環境を作って欲しい。
・金沢市は二次予防事業をしていてそれは良いことだと思うが、３ヶ月が終わったらその後の受け皿がない。そのため、次期プランでは受け皿を作ってほしい。

10　アンケートにおける意見・感想等（回答者数 75 人）

(1) 市民フォーラムについての意見・感想（59 件）
・フォーラムに参加してよかった、参考になったという感想（16 件）
・意見交換で、様々な意見が聞けて参考になったという感想（14 件）
・制度改正についての説明を希望する意見（９件）

(2) 住み慣れた地域で高齢者の暮らしを支えるために求められるものは何か（56 件）
・地域力（互助）の向上（17 件）
・医療・介護・生活支援のサービスの充実（11 件）
・個人の意識改革、知識の向上（10 件）

(3) 在宅医療に関する講演についての感想（54 件）
・わかりやすい説明だった、参考になったという感想等（44 件）
・在宅医療のあり方に関する意見・感想（８件）

(4) これからの介護保険に関する感想・要望（40件）
・次期プランの策定に向けた施策の方向性、提案に関する意見・感想（19件）
・介護保険制度のあり方に関する意見・感想（７件）
・市民等への周知に関する意見・感想（６件）